

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の4倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の4倍（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の61%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では漁が再開され、ニザダイなどが1日1統当たり352kgの水揚げ。北松生月地区では、サワラなどが1日1統当たり903kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり281kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり133kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり145kgの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。
- トビウオ船曳網――北松生月地区では9日より船曳網漁が始まり、小トビ主体で1日1統当たり146kgの水揚げ（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/5日～9/9日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（アカイカは北太平洋中央部付近で操業、スルメイカは大和堆付近に出漁するも漁は少ない）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 1日延1隻、総計13箱、ケンサキイカを中心に漁獲、魚体は2立～3立主体。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>